

資料3

第5学年5組 国語科学習指導案

指導者 鈴木 由紀子

- 1 単元名 多様な情報を読み取り，自分の考えを深めよう
世界遺産 白神山地からの提言－意見文を書こう

2 単元について

(1) 単元観

本単元は，元々は読むことと書くことを密接に関連させ，豊かで多様な言語活動へと展開する構成となっている。その中で，更に考えを深めるために意見交流を行うことになっており，「話すこと・聞くこと」の検証授業として本単元を設定した。

因みに，新学習指導要領における「話すこと・聞くこと」に関する指導事項では以下の部分に関わってくる。

構成の検討，考えの形成（話すこと）

イ 話の内容が明確になるように，事実と感想，意見とを区別するなど，話の内容を考えること。

表現，共有（話すこと）

ウ 資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫すること
構造と内容の把握，精査・解釈，考えの形成，共有（聞くこと）

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめること。

話し合いの進め方の検討，考えの形成，共有（話し合うこと）

オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすること。

これを受けて本単元では，「白神山地の自然保護のあり方について」という話題で自分の考えをより深く考えていくために，教科書の資料を活用して話したり，同じ意見・違う意見の両方と話す機会をつくり，相違点をしっかりと比較させる活動を行う。

(2) 児童の実態

本学級の児童は，前向きに学習に取り組める児童が多い。与えられた課題にもまじめに取り組んでいる。しかしながら，受け身の児童が多く，自分から積極的に意見を述べたり何かにチャレンジできる児童が少ないのが現状である。話すことに対する課題としては，次のようなことがあげられる。

- ・自分の考えをしっかりと意思表示することができない。
- ・話す人が決まっている。

また，聞くことに対する課題としては，次のようなことがあげられる。

- ・内容をしっかりと聞いていない。(聞く姿勢ができていない)
- ・共感的に聞く子が少ない。(相手に対する関心が低い)

4月当初は、そもそも学級全体として話し合いが成立していない状況であった。そこで、4月から国語科の学習や学活等で意図的に話し合いの機会を設けてきた。4月からの主な取り組みは以下の通りである。

- ・「要約伝言ゲーム」をしよう
友達と自分の意見の相違点を見付ける。
- ・「わが町ベストスリー」をきめよう
推薦するものを資料をもとに発表する。
- ・話し言葉と書き言葉
それぞれの違いについて確かめる。
- ・「意見こうかん会」をしよう
意見交換会のやり方を知り、実際にやってみる。
- ・グループでの話し合い、他己紹介、朝のスピーチ

(3) 指導観

話し合いの苦手な児童ではあるが、上手な話し合いを成立させることは、学びを深めるためにも、更にはよりよい人間関係を構築させていくためにも大切である。そこで、本単元は「読む」と「書く」が中心の単元ではあるが、自分の立場を決めて意見を交流することができるようにするために、話し合いの場を意図的に取り入れていく。話し合いの方法としては、9月単元の「意見交換会」のやり方で意見交流を行うことで、話し合いに対する抵抗を少なくする。

また、全員が自分の意見をしっかりと持って話し合いに参加できるように、資料を整理する活動を丁寧に行い、単元のゴール（意見文を書く）のために、意見交流をするという目当てをしっかりとらせて学習に取り組ませる。

これらの活動を通して、少しでも話し合いに対する抵抗を取り除き、話し合うことの楽しさを味わわせたい。そして、話し合いによって自分の考えを深められるようになっていってほしいと考える。

3 単元の目標

- ・白神山地に関する多様な文章や資料を読み、それを根拠にして自然保護に対する自分の考えを深めようとする。 【学びに向かう力・人間性等】
- ・自然保護についての立場を決め、話し合う中で主張の根拠となる事例を比較したり関係づけたりして整理することができる。 【思考力・判断力・表現力等 A】
- ・資料の文や言葉を引用したり、図表やグラフなどを用いたりし、自分の考えが伝わるように書くことができる。 【思考力・判断力・表現力等 B】
- ・自然保護に関する文章の構成に着目することができる。 【知識及び理解】

4 指導計画（10時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	評価規準（評価の観点・評価方法）
第一次	1	・単元名とリード文を読み、自分の意見を文にまとめることについて話し合い、学習の見通しをもてるようにする。	・意見文を書くという目的を明確にしなが ら自然を守る方法について考えてい る。（発言）
第 二 次	1	・自然保護のあり方について考える ために、白神山地について書かれた 2つの文章を読み、白神山地の自然 保護の方法を知る。	・二つの文章から、白神山地の実態と、 それを守る自然保護の方法について読ん でいる。（ノート・発言）
	1	・白神山地の自然保護のあり方につ いて自分の立場を決め、その考えの 根拠となる情報を見付けることがで きる。	・資料全体を俯瞰して自然保護につい ての自分の立場を決め、その根拠となる情 報を整理することができる。（ノート）
	1	・同じ考えの友達と小グループを作 って、意見を交流し自分の考えを深 めることができる。	・自然保護に対しての考えを交流し合う ことで、自分の考えをより明確にす ることができる。（カード・ノート・発言）
次	1	・違う考えの友達と意見交流会を行 い、自分の考えを深めることがで きる。（本時）	
第 三 次	4	・自分の考えとその根拠を整理して、 意見文を書くことができる。 （1）2つの意見のどちらの立場 をとるか決め、「始め」の 部分を書く。 （2）カードや話し合ったことを 元に、自分の立場や考えに 合った根拠を「中」の部分 に書く。 （3）「始め」に主張したことや 「中」で根拠として書いたこ とを踏まえ、より自分の主 張が伝わるように「終わり」 を書く。	・白神山地の自然保護に関して、自分の 立場を明確に書いている。（意見文） ・自分の考えを説明するために、適切な 根拠を示して書いている。（意見文） ・自然保護に対する自分の考えをまとめ て書いている。（意見文）
	1	・友達と意見文を読み合い、単元を 振り返ることができる。	・自然保護について書いた意見文を観点 をもって読み返し、振り返っている。 （発言・ノート）

5 本時の指導

(1) 目標

- ・白神山地の自然保護のあり方について、資料から得た根拠を明確にして意見を交流しようとする。
- ・様々な意見を聞き、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

- ・白神山地の自然保護のあり方について、根拠を明確にして意見を述べることができる。
- ・相手の意見と自分の意見の相違点に着目しながら聞くことができる。

【話すこと・聞くこと】

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	1 本時の目当てを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">白神山地の自然保護について意見こうかん会をしよう。</div>		
	2 グループ内で話し合いの役割を確認する。	意見交換会の進め方 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> それぞれの立場から意見を交換する。 どちらが正しいという判断はしない。 それぞれの長所と短所を考えられる。 </div>	意見交換会の進め方
30	3 「意見こうかん会」の流れにそって意見交換会を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ○人間を近づけないようにして守る ○人間が関わりながら守る </div> ①順番に意見交換をする。 ・役割分担に従って順番に話す。 ②グループで話し合い、質問・意見を整理する。 ③質問・反論をする。 ・相手からの質問や反論に、準備していた資料をもとに話す。 ④まとめをする。(代表者)	・相手を論破することが目的ではないことを確認する ・考えの根拠となる事実をもとに話し合うことを確認する。 ○相手の意見と自分の意見の相違点に着目し、比べながら聞く。 ○根拠となる資料を明確にして自分の考えを述べる。 ○資料から得た根拠を明確にして意見を交流しようとしている。	教科書の写真資料
10	4 話し合いを振り返り、自分の考えをまとめる。	・初めの自分の考えと比べながら、考えをまとめる。 ○様々な意見を聞き、自分の考えを深めたり広げたりしようとしている。	

(3) 板書計画

【あなたならどうする？自然保護のあり方】

<p style="text-align: center;">〈人を入れないで守る〉</p> <ul style="list-style-type: none">・人間が自然を壊している・自然は守らなくてはいけない・計り知れないめぐみを守る・貴重な生物に影響が出る	<p style="text-align: center;">〈人を入れながら守る〉</p> <ul style="list-style-type: none">・自然を守れば自然に生かされる・自然の素晴らしさが味わえる・入山届出書で守られる・世界遺産↓人が集まり関心が高まる・自然とともに生きることが大切・良さが分からなければ守れない
---	--

④ 白神山地の自然保護について
意見交換会をしよう。

6 成果と課題

- 自分の考えを自信をもって伝えさせるために、意見交換会の前に同じ意見の友達と話し合いを行った。自分と同じ立場の友達でグループを作って話し合わせたことで、自分の考えの不足しているところを補ったり、自分の考えに自信を持ったりすることができた。
- 話す内容について、黒板に自分の考えを短冊で明示した。これにより、自分の立場を明確に示し、話し合いに主体的に参加することができた。
- 意見交換会は、相手を論破することではなく、違う意見に耳を傾けることで自分の考えをより明確にするためのものであることを初めに確認した。このことにより、どちらがいいか悪いかという二者択一の聞き方ではなく、相手の考えのよいところを聞くように心がけていた児童が多かった。これは、授業の終末で行った意見文の中に現れていた。

- ▲自分の話すべきことを話すだけで精一杯で、どうしたらより効果的に話せるかというところまで気を配れる児童は少ない。更に聞き手の立場に立って話すことはほとんどできていない。まだまだ話す経験が足りないと思われる。更に色々な場面で話す活動を意図的に設けていく必要がある。

- ▲聞き方のスキルをもう少し鍛える必要がある。話し合いがよいキャッチボールにならないことが多い。これは、聞き手が育っていないことも大きな要因である。話す経験を積んでいくとともに、より効果的に聞いていく経験も教師が意図的に仕掛けていく必要がある。